

沖平祈禱第 27 号  
令和 4 年 10 月 8 日

一般財団法人日本ボーイスカウト沖縄県連盟  
連盟長 伊敷 元秀 殿

公益財団法人 沖 縄 協 会  
会 長 清 水 治 (公印省略)  
( 沖 縄 平 和 祈 念 堂 )

第 45 回「摩文仁・火と鐘のまつり」に関するご協力方お願い

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

沖縄平和祈念堂に対しましては、平素より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当協会が、毎年大晦日の夜に平和祈念堂で開催する「摩文仁・火と鐘のまつり」は、これまで過去 42 年にわたり貴連盟所属の団員の皆様の絶大なるご協力を得て盛会裡に実施してまいりました。しかしながら、第 43 回、44 回とも新型コロナウイルスの流行により中止となりました。今年の 45 回目のまつりは、一般の社会状況を考慮し関係者のみで実施する運びとなりました。今後、感染状況の悪化によっては参観者の安全のため中止する可能性もありますので、何卒、ご理解いただきますようお願いいたします。

つきましては、これまで同様、ご尽力を賜っております貴連盟所属の団へご協力方お願いを申しあげる所存でありますので、まつりの意義をお汲み取りいただき、各団への特段のご配慮とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 第 45 回「摩文仁・火と鐘のまつり」

### 実 施 要 項

公益財団法人 沖 縄 協 会

### 趣 旨

沖縄県民の強い平和希求の心を結集して昭和 53 年(1978)に創建された沖縄平和祈念堂では、開堂以来毎年大晦日の夜に「摩文仁・火と鐘のまつり」を開催しておりますが、今年で第 45 回目を迎えることとなりました。

このまつりは、沖縄戦終焉の地"摩文仁"に大勢の老若男女が相集い、戦没者慰霊のたいまつを掲げ、鎮魂の大聖火を焚き、打ち鳴らす平和の鐘の響きに恒久平和を希い、心豊かに新年を迎える行事で、世界が真の平和な時代になるよう祈念して開催いたします。

まつりをとおして、戦争の悲惨さ平和の尊さを訴え、あの大戦を体験したお年寄りから戦争を知らない若い世代まで一体となり、戦争で亡くなられた人びとに想いをいたし、一人ひとりの平和への決意を込めて、その思いを内外に浸透させていくことがこの行事の大きな目的です。

今回のまつりの進行は、ボーイスカウト、ガールスカウト、乙女椿、浦添市吹奏楽団、糸満市空手スポーツ少年団、その他多くのボランティア団体の皆さんが原動力となって進められ、厳粛な開会式の平和式典につづき、参加者とともにメイン行事にむけてさらにまつりの雰囲気を高めていきます。

クライマックスでは、沖縄平和祈念像の前に灯した平和の祈りをこめた聖火を祈念堂下段入口の小聖火台へ点火し、祈りの聖火を参加者全員のたいまつに移し、参加者はたいまつを頭上高く掲げて行進し、聖火の列で堂宇前庭へとつづき、前庭中央の大聖火台のまわりに大きな円陣をつくりまします。そして、澄みきった空に清らかで美しい平和祈念像讃歌の歌声が響きわたり、代表 7 名が大聖火台に聖火を点し、夜空を焦がす勢いで聖火の炎が燃え上がるなか、喜びのファンファーレによってまつりを締めくくります。

当協会では、このまつりに一人でも多くの方にご参加をいただき、まつりに訪れた人びとが心一つにして、平和祈念堂から全世界に平和を発信していくことを念願いたしておりますが、今般、新型コロナウイルスの感染状況について先が予測できない状況の為、今回は、規模を縮小し関係者のみで 17 時～18 時 15 分にて実施することとなりました。今後、感染状況が悪化によっては参加者の安全のためまつりを中止する可能性もありますので、何卒、ご理解いただきますようお願いいたします。

## 記

1. 名 称 第45回「摩文仁・火と鐘のまつり」
2. 日 時 令和4年12月31日(土) 17:00～18:15
3. 場 所 沖縄平和祈念堂(沖縄県糸満市字摩文仁448-2)
4. 主 催 公益財団法人 沖 縄 協 会
5. 後 援 沖縄県 糸満市 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー  
沖縄タイムス社 琉球新報社 NHK沖縄放送局  
琉球放送 沖縄テレビ放送 琉球朝日放送  
ラジオ沖縄 エフエム沖縄 (順不同)
6. 協 賛 一般財団法人 沖縄県遺族連合会  
公益財団法人 沖縄県平和祈念財団 (順不同)
7. 協力団体 一般財団法人日本ボーイスカウト沖縄県連盟  
// 那覇第4団  
// 与那原第1団  
// 浦添第4団  
// 他所属各団団員  
一般社団法人ガールスカウト沖縄県連盟  
// 第10団  
// 第25団  
// 第35団  
乙 女 椿  
平和祈念堂金管アンサンブル  
糸満市空手スポーツ少年団 (順不同)
8. 運営方法 各団体の代表で構成されたまつり実行委員会が“まつり”の運営にあたる。
9. 実施方法 一般参観者はなしで関係者のみで行う。
10. 広報活動 テレビ・ラジオをとおしてまつりの模様を放送してもらえるよう報道機関に協力を依頼する。
11. 問い合わせ 沖縄平和祈念堂管理事務所 TEL / 098-997-3011

## 第45回「摩文仁・火と鐘のまつり」プログラム・スタッフ用

令和4年12月31日	16:00	※全スタッフ集合時間 ※実行委員会確認会議（静養室）
	16:15	※玻名城律子氏リハーサル＝沖縄平和祈念像讃歌（堂宇前庭） ※平和祈念堂金管アンサンブルリハーサル
	17:00	開式の挨拶（堂内） ※平和の楚「平和の火」採火・祈念堂に行進 黙とう ボーイ2名・ガール2名 平和宣言 ボーイ1名・ガール1名
	17:05	糸満市空手スポーツ少年団・奉納演武（堂内）
	17:15	トーチの準備（堂外） ※実行委員は参加者にトーチを配布し階段両側に整列させる トーチ行列先頭はボーイ3名・ガール3名・少年団1名の代表7名
	17:20	平和の祈りを込めた聖火の入場・退場 ボーイ1名・ガール1名
	17:25	堂外消灯
	17:30	「ファンファーレ」平和祈念堂金管アンサンブル 堂玄関から聖火移動開始
	17:35	祈念堂中段の小聖火台に聖火が灯される →代表7名を先頭に小聖火台よりトーチへ順送りに点火してたいまつ列を つくり、乙女椿による大太鼓の連打に送られて行列は祈念堂上段の堂宇 前庭へゆっくりと移動する→トーチの円陣が整い次第、連打を止める
	17:45	「沖縄平和祈念像讃歌」献唱 玻名城 律子
	17:50	「平和の鐘」献鐘 一般の方々によって献鐘 「大聖火の点火」 代表7名が大聖火台に点火する 「ファンファーレ」 高らかに響きわたる金管合奏・まつり終了を告げる
	17:55	献鐘終了
	18:00	※全体解散式（実行委員会及びスタッフは堂宇前庭へ集合）
	18:15	終了（閉館）